



猿八座公演

古屋和子ひとり語り

『ちぎりあそばさ』
—残された者たち—
平家物語より重衡しげひらを主に

二〇二三年五月三日(火・祝)

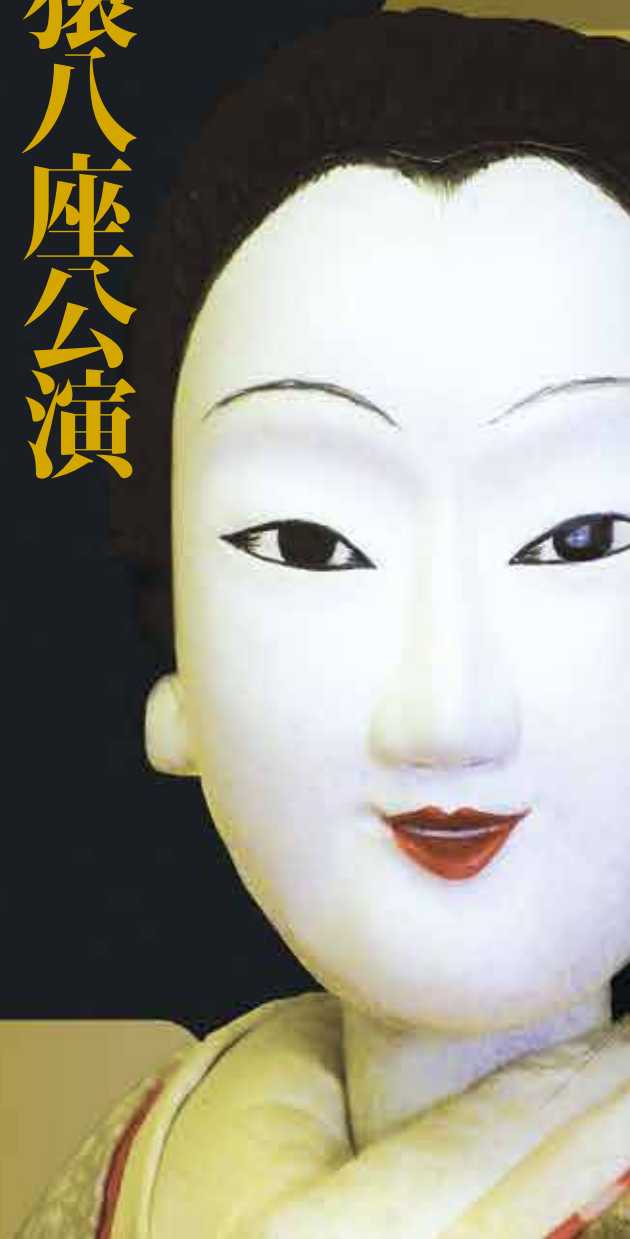
〈二回公演〉午後1時半 / 午後4時

定員各回二〇名・要予約

参加料 一般二千円 / 中学生・高校生千円

小学生以下無料(保護者同伴にて幼児入場可)

〈主催・会場〉
砂丘館



『ちぎりあらば』 —残された者たち— 平家物語より重衡を主に

平家の武将平重衡は平清盛の五男。武勇優れその容姿は牡丹の花に例えられたが、驕る平家は久しからず。南都焼討の仏敵として処刑される重衡は妻大納言佐との最後の逢瀬に来世での契りを約す。

平家の武将平重衡は平清盛の五男。三位中将と称された。その将才は「武勇の器量に堪ふる」と評される一方、その容姿は牡丹の花に例えられたという。平氏の大将の一人として各地で戦い、清盛の命で南都焼討を行った際に東大寺大仏や興福寺まで焼亡させてしまい多数の僧侶達も焼死した。墨俣川の戦いや水島の戦いで勝利して活躍するが、一ノ谷の戦いで捕虜になり鎌倉へ護送された。平氏滅亡後、焼討を憎む南都衆徒の強い要求によって南都へ引き渡されることになり、鎌倉を出立。大津から山科を経る醍醐路を通り、日野の近くには差しかかった時重衡は護送の武士に「私には子がないので思い残すことはないのですが、この近くに妻がおりますので今一度対面して後生のごなど申し伝えておきたいのです」と最後の情けを願い、武士たちも涙してこれを許した。

重衡の妻は大納言藤原邦綱の次女、藤原輔子(ふじわらのほしすけ)。安徳天皇の乳母をつとめ、従三位典侍・大納言典侍と称した。壇ノ浦の戦いで平氏は滅亡し、この際に平氏の女達は安徳帝と共に入水した。輔子も安徳天皇の地位を守るため三種の神器の一つである八咫鏡(やたのかがみ)と共に入水しようとするが、寸前のところで捕えられ捕虜になる。



輔子と対面した重衡は、出家して髪を残したいがそれも叶わないので額に垂れた髪をひと房噛み切って輔子に渡し形見とした。輔子は「入水して死ぬべき身でありましたが、貴方が生きていますと聞き、今一度お姿を見ることもあるかもしれないと願い生き長らえてきました」と涙を流した。別れの歌を交わした後重衡は「契りあれば来世にあってもまた逢えるでしょう」と言い残して、立ち去った。享年29。斬首され、うち捨てられていた重衡の遺骸を輔子は引き取り、首も南都大衆から貰い受けて茶毘に付し、日野に墓を建てた。



語り◆古屋和子
ふるやかずこ

早稲田小劇場を経て、1978年水上勉主宰「越前竹人形の会」を契機に「語り」に取り組み。その後横浜ポルトシアターの女優を経て、現在「人語り」で活躍中。カナダ、アメリカ、オーストラリアなど世界各地のストリートテリングフェスティバルに出演するほか先住民居留地を訪ねて語り文化の交流を重ねる。平家・近松の古典や泉鏡花・中島敦・ユルスナール・宮澤賢治・安房直子等幅広いレパートリーを持つ。



琵琶◆塩高和之
しおたかかずゆき

文化としての琵琶を標榜し、雅楽古典曲から現代作品まで幅広く琵琶を捉え、国内外で演奏作曲の両面に於いて活動を展開。又様々な琵琶を文化という視点で紹介する琵琶楽人倶楽部及び日本橋富沢町楽芸会を設立。12年間で130回を超えるレクチャー・コンサートを行っている。現在までに8枚のリーダールバム(CD)を発表。FEIレコードを通じて世界に発信している。塩高和之オフィシャルサイト <http://biwashioakaka.com/>



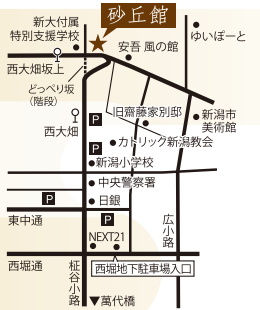
人形◆猿八座 西橋八郎兵衛
にしはしはちろくべえ

猿八は座の主宰者。西橋が住む佐渡の地名。1970年文楽人形遣い吉田寅助に入門、吉田寅司の芸名で舞台を勤める。1979年文楽を退座し佐渡に移住、文弥人形「真明座」に加わり現在に至る。1995年「説経をくり」(語り・古屋和子)で猿八座を旗揚げ。信田妻「山椒太夫」など古浄瑠璃の復活上演や他の邦楽、洋楽などと国内外で共演。2006年から5年間、元文楽三味線弾き鶴澤浅造と共に新潟市民を募り、越後を舞台にした古浄瑠璃「弘知法印御伝記」を復活上演。2011年4月からは渡部八太夫と共に、伝統人形芝居の継承と可能性を拓く活動を続けている。



人形◆猿八座 堀八島
ほりやしま

新潟市内の演劇専門学校や、市民歌舞伎「みなと座」在籍後、2008年猿八座入座、主要な遣い手として活躍中。



砂丘館

指定管理者:新潟給屋・新潟ビルサービス特定共同企業体



申込受付開始:4月6日〈砂丘館へ電話、FAX、メールでお申込みください〉

電話・FAX/025-222-2676 Eメール/yoyaku@bz04.plala.or.jp
メール、FAXでお申込みの場合は連絡先(電話番号)、人数を併記して下さい。

砂丘館 座敷・居間・茶の間

新潟市中央区西大畑町5218-1 tel.025-222-2676 <https://www.sakyukan.jp>
新潟駅方代口より浜浦町線C2系統 又は 観光循環バス「西大畑坂上」下車徒歩1分

※砂丘館には駐車場がありません。また、周辺の道路は駐車禁止です。公共交通機関をご利用ください。
※新潟市西堀地下駐車場をご利用の方は駐車券提示にて1時間分の無料券を差し上げます。

〈私たちは砂丘館の自主事業を応援しています〉



〈*新型コロナウイルス感染予防対策を講じて実施いたします。ご参加にあたってはマスクの着用をお願いいたします。また当日検温を実施させていただきます。〉